

2016年2月8日  
株式会社日立製作所

## システム開発言語の COBOL から Java への効率的な移行を支援する 「COBOL マイグレーションサービス」を提供開始 レッドハットと共同開発

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、企業の基幹系システムなどで使用されているプログラミング言語である COBOL\*1 で構築されたシステムの Java\*2 への効率的な移行をワンストップで支援する「COBOL マイグレーションサービス」を、2016年2月16日から提供開始します。

本サービスは、レッドハット株式会社(代表取締役社長:望月 弘一/以下、レッドハット)と共同開発したものです。システム移行のほか、業務上の規則などのルール変更に伴うシステムの改修や、利用状況の分析・課題抽出による業務改善、運用・保守作業など、関連業務の全面的な効率化を実現します。

COBOL は主に、メーカーが独自に設計・開発した汎用コンピュータ(メインフレーム)上で稼働する基幹系システムを開発する際に使用されてきました。しかし、近年ではメインフレームに比べて低価格で、現在広く普及している一般的なサーバを基盤とするオープンシステムの導入が拡大しており、Java をはじめ、オープンシステムに適したプログラミング言語が普及しています。特に Web システムは Java での構築が主流となっており、COBOL で構築したシステムを運用している企業でも、技術者を確保しやすい Java へ移行するニーズが高まっています。

「COBOL マイグレーションサービス」は、日立とレッドハットの製品を組み合わせ、COBOL から Java への移行に伴うシステムの現状分析から構築、移行後の運用・保守までを全面的に支援するものです。具体的には、ソフトウェアのリソース管理・解析を行う日立のアプリケーション・ライフサイクル・マネジメント(ALM)\*3 システム、プログラムの自動生成やテストの自動化を行う日立アプリケーションフレームワーク「Justware」、ならびにレッドハットが提供するビジネスルールマネジメントシステム(BRMS)\*4「Red Hat® JBoss® BRMS」(以下、JBoss BRMS)から構成されています。本サービスにより、COBOL から Java へのシステム移行を効率的かつ迅速に行うことが可能となり、システム移行に必要な業務負荷を低減し人的リソースの最適配置を行うことができます。

日立は、COBOL で構築されたシステムの解析やオープンシステムへの移行、ならびに関連するコンサルティングなどの実績とノウハウを培ってきました。今後も、レッドハットの協力のもと、本サービスの機能強化に取り組むとともに、一層加速することが見込まれる COBOL から Java へのシステム移行を支援し、お客さまのビジネスを支える IT システムの強化に貢献していきます。

- \*1 COBOL:COmmon Business Oriented Language。1960年代から使用されている事務処理システム用のプログラミング言語。
- \*2 Java:1990年代に米国で開発されたプログラミング言語。特定の OS やプロセッサなどに依存する従来のプログラミング言語の課題を解決すべく、あらゆるプラットフォーム上で動作し、ソフトウェア開発と保守の複雑性を低減させ、生産性を高めるように設計された。現在のシステム開発において、多く用いられている。
- \*3 Application Lifecycle Management:ソフトウェアの定義、設計、開発、テストといったライフサイクルを統一的に管理すること、あるいはそのツール。
- \*4 Business Rule Management System:業務上の規則や判断基準といったルールに関する設定をアプリケーションから切り離して、一括管理することで、IT システム全体の開発・運用業務を効率化・簡素化するソフトウェア。

## ■「COBOL マイグレーションサービス」の特長

### 1.COBOL から Java への効率的な移行を実現

ALM システムの機能を活用して、COBOL で構築された既存システムの設計情報や機能などを解析し、業務上の規則や判断基準などを設定する業務ルール部分と、業務ルールに応じたシステム実行処理を行う業務アプリケーション部分を抽出します。そして、解析結果をもとに、業務ルール部分を「JBoss BRMS」で管理すると同時に、業務アプリケーション部分については「Justware」で Java ベースのプログラムを自動生成します。これにより、従来は手作業で行われてきた既存システムの詳細な分析やプログラミングなどの作業を大幅に削減し、効率的なシステム移行が可能になります。

### 2.柔軟なシステム改修や業務改善を支援

「JBoss BRMS」によって業務ルール部分を業務アプリケーション部分とは別に管理するため、柔軟なシステム改修が可能となります。具体的には、業務上の規則や判断基準などの変更・追加が発生した場合、「JBoss BRMS」内の登録内容や定義に関するプログラムを修正するだけで、変更・追加部分を関連する業務アプリケーションへ自動的に反映できます。

また、業務アプリケーションが動作する際に記録されるログ情報をもとに、ALM システムの機能を利用して各業務ルールの利用頻度などを把握・分析します。これにより、業務ルールの利用状況を可視化できるため、利用頻度が高い業務ルールの細分化や不要な業務ルールの削除、効率的な業務フローへの変更などのシステム改善を効率的に行うことができます。

## ■米国レッドハット社からのコメント

Red Hat, Inc. ミドルウェア事業部門 副社長兼ゼネラルマネージャー Mike Piech(マイク・ピーチ)

レッドハットは、日立による「JBoss BRMS」を活用した「COBOL マイグレーションサービス」の発表を歓迎します。「JBoss BRMS」がお客さまのマイグレーションプロセスの改善に役立つことができ嬉しく思います。今回の「COBOL マイグレーションサービス」は、グローバル企業である日立が Red Hat® JBoss® Middleware 製品のテクノロジーを活用した、創造的かつ実践的なソリューションの例となります。

## ■「COBOL マイグレーションサービス」の価格および提供開始時期

名称	価格	提供開始時期
COBOL マイグレーションサービス	個別見積	2016年2月16日

■「COBOL マイグレーションサービス」に関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/cobol-migration/>

■商標に関する表示

- ・Red Hat、JBoss は米国およびその他の国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。
- ・Java は Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 アプリケーションサービス事業部 [担当:太田]  
〒212-8567 神奈川県川崎市幸区鹿島田一丁目 1 番 2 号(日立システムプラザ新川崎)  
お問い合わせ先:<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---